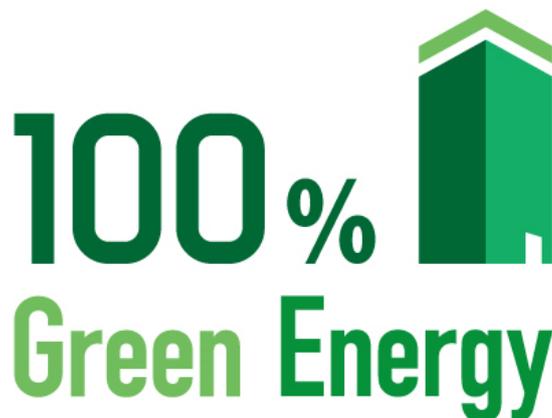


「日経 GX500 2023 年版」(脱炭素経営ランキング)

「情報開示」と「排出量の管理や削減実績」の分野別でいちごが1位を獲得！

当社は、長期 VISION「いちご 2030」のとおり、従来の心築(しんちく)を軸とした事業モデルをさらに進化させ、「100年不動産」へチャレンジするとともに、地域および地球に優しいクリーンエネルギー事業を積極的に推進しております。

このたび、全国の上場企業および従業員100人以上の有力非上場企業へのアンケートで有効回答のあった899社を対象に、日本経済新聞社がまとめた脱炭素経営ランキング「日経GX500 2023年版」(11月7日公表)において、総合評価50位、分野別評価では「情報開示」と「排出量の管理や削減実績」の分野において1位を獲得しましたのでお知らせいたします。



100%
Green Energy

当社は、サステナブルインフラ企業として、大きな成長目指しており、それを達成するための一環として、事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーとすることを目指す国際的なイニシアティブである「RE100」に加盟しております。**「2025年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにする」**ことを目標に置き、脱炭素社会実現への取り組みを加速してまいりました。

この目標において、運用する上場投資法人(いちごオフィス 8975、いちごホテル 3463)が保有する不動産にて消費する電力を含めて100%再生可能エネルギーとすることを目指しております。主なCO2削減施策として、①再エネ由来の電力メニューへ切り替え、②省エネ化、③当社が開発・運用する太陽光および風力発電所由来のトラッキング付非化石証書の活用を進めてまいりました。

運用ビルのうち再生可能エネルギーの切り替えが済んだものについては、入り口などに自社独自のマーク「100% Green Energy」をつけて取り組みを示しており、約85%の物件において切り替えが進んでおります。また、LED化や空調機器高効率なども進めることで、省エネ化にも取り組みました。

さらに 2022 年度には当社の開発・運用する発電所に由来したトラッキング付非化石証書の活用を開始しました。2022 年度の実績は 10,725,936kWh となり、これは当社グループの年間消費電力量の約 10%に該当します。



いちご栄ビル

再生可能エネルギー導入済物件にマークを提示



いちご取手下高井西 ECO 発電所

発電所由来の非化石証書の対象となる発電所の一つ

2023 年度はこれらの取り組みをさらに加速させ、2023 年 11 月末時点で、2025 年の目標に向けて、83%の達成状況となっております。

当社がクリーンエネルギー事業において、開発および運営する稼働済みの太陽光発電所や風力発電所は、約 200MW に及びます。今後も再生可能エネルギーの創出に注力するとともに、事業活動による消費電力を再生可能エネルギーへの切り替えと、オフセットを進めてまいります。目標である 2025 年の脱炭素に向けて、豊かさと環境が共存する未来のため「脱炭素社会」への取り組みを加速してまいります。

本リリースに関するお問合せ先 いちご広報担当 03-3502-4800

以 上